



GIRLS GET EQUAL

Geena Davis Institute on Gender in Media

REWRITE HER STORY



映画とメディアによる固定観念は女の子と若い女性の生き方とリーダーシップの意欲にどのように影響しているか

日本語版要旨

調査概要

世界でもっとも人気のある映画はいまだに男性によって作られ、男性のための世界を映しだしている。この調査～「女の子たちに新しい物語を」～では、映画が女の子と若い女性たちが可能性を十分に発揮することを妨げるような、有害な性別役割の固定概念を刷り込み続けていることが分かった。女性と女の子たちはリーダーとして描かれることが極端に少なく、もし彼女たちがリーダーシップをとる地位にいたとしても、性的な対象として描かれる可能性が男性よりもずっと高い。

この新しい報告書は 2019 年 6 月に発表した「リーダーになる～女の子と若い女性が考えるリーダー像～」に続き、特に映画や広告などのメディアにおけるジェンダー像を調査したものである。この調査では特に女の子と若い女性のリーダーシップに対する意欲や願望を醸成するにあたり、メディアが果たす役割に注目し、2018 年に 20 カ国で最高興行収入を上げた 56 本の映画を分析した。

「メディアは私たちの考えやどのように世界を見るかということにおいて、大きな力を持っていると思います。私の人生において、メディアは重要な役割があると思います。」

カナダの若い女性

この調査について

データは、米国 Mount Saint Mary's 大学の the Geena Davis Institute on Gender in Media とプラン・インターナショナルの協力によって集められた。20 カ国の映画分内容の分析は、Geena Davis Institute の GD-IQ という新しい自動視聴覚ツールを利用し行われた。またこの調査には、プラン・インターナショナルの活動する複数の国でのインタビューと女の子と若い女性と共に行ったグループディスカッションの内容が含まれている。

私たちが伝えられてきた話

映画において女性が次のような描かれ方をすること—性の対象や家庭内の存在としてのみ描かれていること—は、数十年間、問題視され、変えようと試みられたもののほとんど変化が起きなかった。この調査では私たちが伝えられてきた話と、女の子と若い女性の願望を形成する重要な役割を果たしている私たちの周りのイメージを紹介する。メディアは有益な力をもつ一方で、有害な性別役割の固定概念を定着させる。この調査は私たちに、女の子と女性が市民として、そしてもちろんリーダーとして、いまだに男の子や男性と平等に見られていないことを明らかにしている。

「なぜなら、私たちがリーダーについて話すとき、私はいまだに男性のことを思い浮かべ、考えます。これ（この考え方）はとても一般的です。人々は男性の方が力を持っていると考えています」
ベトナムの若い女性、21 歳

この調査のなかで、女の子と女性は自分達自身を映画の中に見つけられなかったと語った。彼女たちはロールモデルを探すが、それらはほとんど存在しない。映画の内容分析では、映画での登場人物の性別とリーダーシップが描写される時間を計測したが、この結果は女の子の考え方を裏付けている。映画の中では主人公の多くは白人と男性が描かれる。また、映画監督も主に白人と男性だ。2018 年の最高興行収入を上げた 56 本の映画の中に女性監督の作品はひとつもない。

「女性が 2 番手の役割を演じている姿を見ると、若い女性は 2 番手としての人生が普通であると考え、意欲を失う。」若い女性 23 歳 セネガル

調査結果

女性リーダーは男性が決してされないような性の対象化をされる。

- ・女性リーダーの 30%は露出の多い服装で描かれることがあり、男性の 7%に対して 4 倍以上である。
- ・女性リーダーの 15%は裸体の一部を描かれることがあり、男性リーダーの 8%に対してほぼ 2 倍である。
- ・女性リーダーの役の 2%は裸で描かれることがあり、0.5%の男性に比べて、ほぼ 4 倍である。
- ・女性リーダーは性の対象として描かれることが 15%あるが、男性は 4%である。
- ・映画の中の女性リーダーの 5%はセクシュアル・ハラスメントを受けているが男性は 1%である。

男性のリーダーが基準

女性が 27%であるのに対して、42%の男性が映画においてリーダーとして描かれている。

- ・映画と広告の両方において、女性は職場より家庭内の存在として描かれる。彼女たちは外見を重視されている。インタビューを受けた女の子と若い女性たちは重要なメッセージを提起した。「私たちはかわいくなければならない。」

「一般的に女性と女の子は家庭を気遣い、身ぎれいにしていて、単純なことをただやっているとされている。私は女性が固定概念を超えて何かをしているのを見たことがない」
カナダの若い女性、18 歳

女の子と若い女性はロールモデルを求めている

・すべての参加国の女の子と女性は、映画の中に女性リーダーが描かれていなかったり、よいお手本として認識されなかったりしたとき、自信や意欲を失うことがある。また、有色人種の女性にその傾向がより多くみられた。

「特に、有色人種の女性や女の子については難しい。もし、(女性のリーダーシップの) よい例やすばらしい例がなければ、トップに立てるかどうかが、疑問が浮かぶ」
オランダの若い女性、23 歳

・女の子と女性たちは、さらに映画に多様性を求めている。彼女たちが見る映画やショーの中に彼女たち自身の生活が反映されることを望んでいる。

「私たちが十分に描写されないのは、そもそもさまざまなタイプの女性が描写されていないからだ。私たちは映画の中でそもそも女性を見つけることが難しく、ほかの人種や人格を十分に登場させていない。少数派の一人として、私は映画の中で私のような登場人物を見たことがない」
カナダの若い女性、17 歳

提言

女の子たちのロールモデルを描く
女性のリーダーシップを可視化し、当たり前であるような物語を作ること。物語は若い女性たちの願望や意欲を伸ばすものであり、意欲を削ぐものであってはいけない。

映画の中で女性と女の子を性の対象として見たり、モノのように扱うことをやめるべきである。
内容が差別的なもの、有害な固定概念や慣習を助長するようなものにならないようにすべきである。

映画製作に関わる女性の監督、プロデューサー、脚本家に投資、あるいは助成すること。
女の子と女性たちを描く作家に、時間とお金を投資すると同時に、メディアにおいて女の子と女性を重要な存在とするために、会社での嫌がらせや差別の問題に取り組む。

「私たちはリーダーシップの役割についての固定概念とそれらをどのように見るべきかを切り替えることができました。女性たちが自分自身で立ちあがり、リーダーシップを発揮すれば、若い女性に勇気を与えることになるだろう」
オランダの若い女性 24 歳